

主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな児童の育成

1 はじめに

(1) 実践の目的

池多地域は人口減少、少子高齢化が顕著に進んでいる。そのような今だからこそ、子供一人一人が地域の課題や魅力を再認識し、持続可能な地域として存続していくための展望をもつ機会としたいと考え、生活科・総合的な学習の時間を中心に学習を設定した。下学年は地域の魅力を詳しく調べることで、地域への愛着や地域とのつながりを育てたい、上学年はそれに加え、今まで地域の魅力として取り上げてきたことばかりではなく、苦労や悩み、今後への不安等、人々の思いといった背景を加えて地域の現状を捉え直すことで、地域の一員としての自身の在り方や生き方を考えるきっかけとしてほしいと考えた。感じたことを仲間と共有し、今の自分にできること、地域と自分の向き合い方を追究することを通して、池多地域への思いや願いを深め、地域に進んで関わろうとする態度を育てたいという思いで本実践に取り組んだ。

(2) 実践の内容・方法

- ・地域理解を促進するためのフィールドワークの機会を設定する。
- ・生活科・総合的な学習の時間を中心に、地域の材を生かした探究的な学びを進める。
- ・ホンモノ性を重視したイエナプラン的教育の実践方法についての理解を深めるための教員研修の充実を図る。

2 活動の実際

(1) 地域理解の促進のためのフィールドワークの実施

ア ファミリー歩行会（全校）

校区を散策したり地域の方と交流したりすることを通して、池多地区に対する理解と愛情を育てることをねらいとして、6月にファミリー（1～6年生の縦割り班）での歩行会を行った。徒歩で20分ほどの地域の小高い丘にある市民農園や里山の管理・経営に携わる地域の施設を目的地にして班ごとにルートを決めて歩いた。目的地に向かう途中には、「こんなところがあったんだ」「景色がよくて気持ちがいいね」などのつぶやきが聞かれ、子供たちは地域にはまだ自分の知らない場所があることを実感している様子だった。また、施設では近くの竹林の竹を用いて制作した竹馬で遊ぶ機



<歩行会の様子>

会をもらい、子供たちは夢中になって遊びながら池多地域の豊かな自然と共に、自分たちのために力を貸して下さる地域の方の温かさを感じていた。

イ 全校遠足（上・下学年）

9月には、さらに池多地域への理解を深めるため、上学年・下学年に分かれて校区にあるダムと温泉（全学年）、産業廃棄物の処理施設（上学年のみ）を見学した。

見学の前には、先方と打合せを重ね、ねらいに合わせた活動を行えるように配慮した。例えば、温泉では下学年には温泉の効能や施設に来る人を増やす工夫を、上学年には施設が市の補助金で再開したこと、今後の運営の課題等を中心に説明をしてもらった。また、それぞれの発達段階を考慮し、下学年は実際に入浴をする機会を、上学年には環境保全の視点から産業廃棄物の処理施設の見学の機会を設けた。入浴体験をした下学年の子供たちは満面の笑みで「気持ちよかった!」「お肌がつつるつつるになったよ」など温泉の魅力を実感を伴って感じている様子だった。上学年の子供たちは広大な産業廃棄物処理場に驚いたり環境に配慮した廃棄物の管理の仕方に感心したりしていた。学校から出て、直接地域を学ぶ機会を設けることによって、子供たちは実感を伴った地域への理解を深めることができたと考える。



<ダムの見学の様子>



<温泉施設の見学の様子>



<産業廃棄物処理施設の見学の様子>

(2) 地域の材を生かした探究的な学び（生活科・総合的な学習の時間）の推進

ア 下学年の実践（単元名『すてきいっぱい ぼく・わたしのいけだ』）

下学年は、地域の魅力である「池多のすてき」を見付け、それを伝える活動を行った。上記の全校でのフィールドワークに加え、子供たちそれぞれが気になる場所への調査・見学を行った。振り返り際には「温泉の何がすてきだと思ったのかな」「ダムの水がたくさんのお作物ができることにつながっているのがすてきだと感じたんだね」など、すてきだと感じている点を数や大きさといった表面に表れることだけではなく、地域の人々の願いや思い、くらしとのつながりから掘り下げることで、子供自身が自分の思いを強くし、こだわりをもった活動につながる働きかけを継続して行った。また、



<すてきを一人一人がまとめている様子>

共有の際には、それぞれのまとめをパネルで掲示し、互いの取組を参考にしたり自身の学びの深まりを実感したりできるようにすることで、子供一人一人がそれぞれに自分が伝えたい「すてき」への思いを高めることができた。

また、見つけたすてきを伝える段階では、「どうやったらそのすてきを伝えられるかな」と働きかけ、効果的な伝え方や話す内容を考えさせた。さらに、自校や他校の友達、保護者、地域や外部の方へと段階を踏んだ3つの発表の場を設けることで、内容や伝え方を再構築して、活動に生かすというサイクルを回せるようにした。地域のりんごのおいし



＜地域の店で発表する子供たち＞

さや育てている方の工夫を伝えるグループでは、3年A児は自分の得意なダンスを用いて育てている方の工夫を、2年B児はオリジナルのキャラクターを描いたのぼり旗を制作し、地域やりんごへの愛着を伝えた。1年C児は温泉の効果のすばらしさを伝えたいと、段ボールを湯船に見立て、入浴したときの気持ちよさを劇で表現した。教師が子供に課題を意識させる働きかけを継続して行ったり、アイデアを生かした取組を認めたりすることで、子供一人一人がこだわりをもち、目的を明確にして活動を進めていくことができた。また、発表を見てもらった相手から、高評価を得られたことにより、子供たちはこの学習に達成感をもつことができた。

イ 上学年の実践（単元名『未来へつなげ 池多を元気に盛り上げ隊！』）

上学年では、地域の方との交流を重ねることで、相手意識を高める子供の姿が見られた。6年D児は、今、池多に住んでいる人々を元気にすることが池多地域の活性化につながると考え、地域のお年寄りとの交流の機会を大切にして活動を進めた。地域の公民館でお年寄りの集会があることを知ったD児はそこで合唱やゲームをすることを提案した。1回目の交流を終えて、お年寄りが喜んでくれたという成果を感じる一方で、一部のお年寄りとの関わりが少なかったことを気にしていた。



＜お年寄りとの交流の様子＞

＜1回目の交流会を振り返っての話合い（一部）＞

T：昨日のひだまりの会についてどう感じていますか。

C1：お年寄りが笑顔になってくれたのでよかったです。「元気になったよ」と言ってくれたこともうれしかったです。

C2：でもぼくらに気を遣って「元気になった」と言ってくれたのかもしれないよ。

A児：ぼくも最初は自分たちが考えたゲームをしてもらってうれしかった。でも足の不自由な方もおられて、その方はそのまま座ったままだったから、今度はどの人も楽しめる遊びを考えたい。

D児は2回目には輪投げを企画した。輪投げのセットを持ち運びができる形状にし、足の不自由なお年寄りには、セットを移動し輪投げに参加してもらえるように

した。また、台座を斜めにしたり特製の大きな輪をつくったりして得点しやすくする改良を加えた。その結果、お年寄りのほとんどに輪投げに参加してもらうことができ、輪もよく入り楽しい時間にする事ができた。その後、D児は今回交流した町内だけではなく、自分の住んでいる町内にもお年寄りの集会有ると知り、



＜改良したゲームで交流する様子＞

休日を利用してそこでも輪投げを楽しんでもらう事ができた。地域の方との交流を、活動の実践、改善、そして次への計画というサイクルを展開しながら重ねることで、相手意識を高め工夫を重ねながら活動を進める事ができたのだと考える。

(3) 外部講師の招聘によるイエナプラン的教育についての教員研修の推進

豊かな地域の材を有効に活用し教育効果を最大化するために、専門的知識を有する外部講師を校内研修に招聘し、教員のイエナプラン的教育についての見識を高めることをねらった。今回の生活科・総合的な学習の時間の実践に単元構想の段階から指導・助言をもらい、その後も進捗状況を共有し、研究発表会では本校の学びを体系化したものを講話という形で示してもらった。指導・助言からは特に、フィールドワークとその振り返りにたっぷり時間をかけ、子供自らが問いをもつことを促す大切さや、一人一人が課題解決への活動を進める中で自然と友達の取組が目に入る環境を整えることによって、子供の主体的な学習態度を育むことができること等を学んだ。助言を生かし、互いの活動が見える環境を整えたことで、横のつながりが活性化し、子供たち一人一人が自分の活動に集中しながらも、友達のつぶやきから一緒に考えたり、参考にしたりするなど、協働的に活動する姿が見られるようになった。



＜外部講師を招いた校内研修の様子＞



＜研究発表会での講師による講話＞

3 まとめ

ふるさとへの誇りと愛着をもつためには、ふるさとを知ることが大切である。今回の実践を通して、実際に自分の目で見て話を聞き、肌で感じる実感を伴った地域理解がふるさとを知るためには欠かせないと改めて気付いた。また、地域を知る中で芽生えた気付きや疑問を他者と共有することで、子供の考えが広まったり深まったりすること、思いを強くし、こだわりをもった活動ができることが分かった。実感を伴った理解のためのフィールドワークの機会の確保、協働での課題解決を促す単元構想や学習環境の整備等、地域の豊かな材を確実に子供たちの学び、これから生きる力の育成につなげていくための方法を今後も模索していく必要があると感じている。